



# 環境保全米通信



😊 バケツ稲で環境保全米を作るよ!!

夏号

2021年6月発行



登米市立東郷小学校の3年1組の「環境保全米」田植え

## 【もくじ】

1. 環境保全米のバケツ稲の田植えが始まるよ
2. いのちの季節 環境保全米の田植え点描!
3. 2020年度 環境保全米の生き物調査の結果報告



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## みやぎの環境保全米とは？

みやぎの環境保全米県民会議が取り組む、「みやぎの環境保全米」は国連のSDGs(持続可能な開発目標)の実践そのものです。みやぎの自然豊かな環境を守るために、農薬・化学肥料を宮城県の標準的使用量の半分以上に減らし、自然と人間の力をあわせておいしいお米作りを。それが「みやぎの環境保全米」です。「環境保全米」の取り組みは1992年のリオデジャネイロの地球環境サミットをきっかけに始まっています。

アンケート大募集、応募者プレゼントも!詳しくは最後のページへ

# 1 環境保全米のバケツ稲・田植えが始まるよ!

## 登米市立東郷小学校を訪問取材しました。

環境保全米の栽培体験をするには、バケツ稲が効果的です。近くに圃場を借りられるところがない学校では、バケツ中で稲を育て環境保全米ができるまでを観察することができます。夏休みには、家で稲の花が咲くところも観察できますね。今回は、「環境保全米」のバケツ稲を、日本で唯一実践している登米市の小学校と JA みやぎ登米の連携事業を取材しました。登米市の 20 校ある小学校のうち、「環境保全米」バケツ稲を行っているのは、迫、登米、石越、南方、米山、中田、東和地区の 16 校です。

5 月 26 日に、「環境保全米」バケツ稲田植えを実施した南方地区の東郷（ひがしごう）小学校（小野寺裕史校長）を訪問して、環境保全米バケツ稲の田植えのやり方を見学しました。まず始めは、佐々木芽衣子教諭が担任する 3 年 1 組 26 名（男子 12 名、女子 14 名）の児童が校庭にバケツと栽培の観察ノートを持って集合しました。JA みやぎ登米からは、担当する農協青年部事務局の加藤和樹さんと、青年部の浅野俊輔さんと安藤亮さんが、田植えの先生役を引き受けました。①で、田植えの先生が児童に学習について挨拶をしました。②作業では、バケツの中に土を入れます。この土は、環境保全米農家と同じ、雑草の種などが混入していない「いなほ粒状培養土（苗づくり用の土）」を使います。③は、土の中に有機質肥料を入れ



①バケツを持って  
集合・ご挨拶!



②バケツに土を入れるよ!



③有機質肥料を入れましょう!



④バケツに水を入れます!



⑤良くかき回します（代かき作業）!



ます。加藤さんが児童のバケツに配っています。この肥料は、JA みやぎ登米専用の環境保全米用有機質肥料です。子供たちは肥料の匂いを嗅いで、魚の匂いがするなどはしゃいでいました。④は、バケツに水を入れました。バケツの底からポコポコと泡が出てきました。みんな元気に騒いでいます。⑤は、土と肥料と水をよくかき混ぜて、土を平らにします。『代掻き』ですよと田植えの先生が説明しています。⑥は田植えです。ひとめぼれの苗を 3～5 本を一束にして、バケツの中に 3 束、間隔を空けて田植

えをしました。これが、「環境保全米」田植えの手順です。これから子供たちは、環境保全米の栽培過程を中央会発行の観察ノート使って、しっかり観察していきます。

次号で報告します。  
(取材：宮城教育大学  
名誉教授 小金澤孝昭)



⑥田植えをしましょう!

# 2 いのちの季節！環境保全米田植え点描！

## オリザ賞の郷から、田植え作業をお届けします。

今年は、環境にやさしい米づくりの実践を表彰する『オリザ賞\*』の年です。そこで、第5回(2009年)の大賞を受賞した「栗原市瀬峰地区循環型農業推進協議会」を訪問しました。現在の米山嘉彦会長が、今年も元気に環境保全米のひとめぼれの田植えを行っていました。(協力 JA 新みやぎ)



※オリザ賞：JA 宮城中央会と河北新報社、東北放送が、3年に1回、持続可能な米作りを表彰する賞です。詳しくは JA 宮城中央会の HP を検索！

## 生協あいコープみやぎ無農薬交流田がスタート



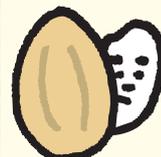
快晴に恵まれた5月15日。大郷町にある大郷グリーンファーマーズの体験圃場にて、生産者と生協理事、職員との田植え交流が行われました。約30年続く交流には、毎年多くの組合員の参加がありましたが、昨年に続きコロナ感染を考慮し人数を制限させて頂いています。生産者の皆様のご協力を頂きながら、生協理事と職員の手植え作業となりました。早速、ザリガニ赤ちゃんを発見しました。アメンボ、カエル、コオイムシ、そして、ヘビにも出会いました。

農薬や除草剤を使わず生物多様性が守られているこの圃場に、また多くの組合員が訪れることを願い、今年も一年管理を続けます。(取材：生活協同組合あいコープみやぎ理事長 高橋千佳)

## 登米市立西郷小学校の環境保全米の田植え作業です！

総合的学習で「環境保全米」を取り上げた(環境保全米通信昨年秋号で紹介)、登米市立西郷(にしごう)小学校(佐藤 宏明校長)の5年生の皆さんが、今年も、田植えを行いました。5月20日南方水稻部会の久保清一副部会長の圃場で、農家さんの協力を得ながら、「環境保全米の」ひとめぼれを手植えました。これからの栽培観察と収穫が楽しみです！

(取材：JA  
みやぎ登米  
理事 後藤  
輝彦)



# 2020 年度環境保全米生き物調査報告

2020 年度の結果では、クモ、カエルに加えて、イナゴ、トンボ（環保のみ）も 1 を超え、タニシ、ツバメももう少しで 1 に達する勢いです。アメンボ、ドジョウも増加傾向にあり、水田に多様な生き物がすめる環境が着実に回復していることがうかがえます。同時に行ったカエルとクモの生息数調査では、慣行栽培・環境保全米栽培ともに、両種

の生息数が 2019 年よりも減少していました。2020 年は東北地方を「令和 2 年 7 月豪雨」が襲い、多くの水田が被害を受けました。カエルとクモの生息数調査は豪雨直後に実施されたため、生息数が減少したと推測されるますが、その減少幅はきわめて小さかったことから、水田がもっている洪水緩和機能が発揮されたものと考えられます。

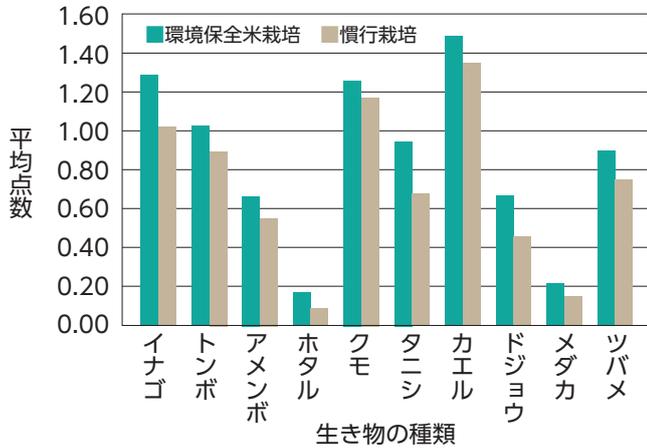


図 1 10 種類の生き物の多さの平均点数 (2020 年)

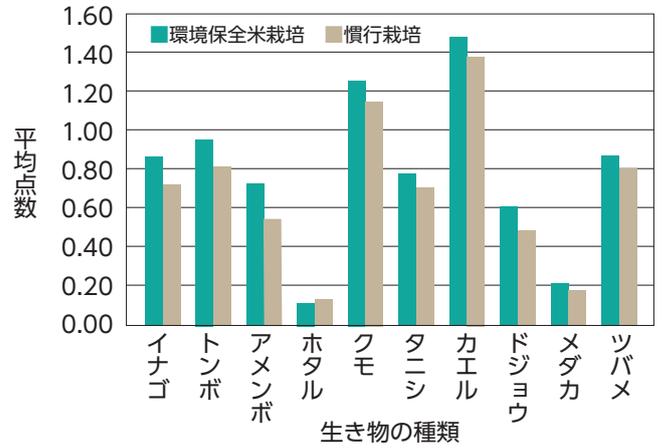


図 2 10 種類の生き物の多さの平均点数 (2017 年)

【調査方法】宮城県内の環境保全米・慣行栽培米生産者に調査用紙を配布し、生き物 10 種類別に田んぼにいる度合いを「いない」「少しいる」「沢山いる」という 3 段階で回答していただいた。集計時に「いない」= 0、「少しいる」= 1、「沢山いる」= 2 という点数をあてはめ有効回答数で割ることによって「平均点数」を算出した。

## 編集長より



令和 3 年度みやぎの環境保全米県民会議が 6 月 7 日に開催されました。この会議では、環境保全米が、SDGs の生きた教材ですとアピールしていくことになりました。

## ご感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、  
環境保全米 2kg を 10 名様に

**Q1 興味をもった記事は？その理由も。**

**Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。**

### ●応募方法

次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。

・アンケートの回答 ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話(FAX)番号

いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理し、プレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

### ●応募締切

2021年8月20日 ※抽選結果は発送をもって代えさせていただきます。

### ●応募先

#### NPO 法人 環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-3 JA ビル別館 5F

TEL 022-261-7348 FAX 022-261-7488

Email okome@epfnetwork.org

URL <http://www.epfnetwork.org/>

環境保全米

検索

### 【アンケート記入例】

#### ●アンケートの回答

Q1)-----

Q2)-----

●名前 保全米 太郎

●年齢 40 歳

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区上杉

1-16-3

●電話番号

022-261-7348